



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5
グランラッセーレ三次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/角谷俊典

幹事/栗本清秀

●2018~19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになるう

●2018~2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
増やそう ロータリーの友

■本日のプログラム 職場例会/社会奉仕委員会

「かぜくさ」へ乾燥機贈呈式並びに共同作業

■次回例会日時 2018年10月22日(月) 12:30~

■次回プログラム 地区大会報告

■第1237回例会記録

●日時.....2018年10月1日(月)12:30~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ロータリーソング「我等の生業」.....全員

●ビジター紹介

広島中央ロータリークラブ/黒瀬真一郎会員(青年会)

古舎ロータリークラブ/奥田卓三会員(鋳鉄製造)

三次ロータリークラブ/小田大治会員(コンクリート販売)

■開会挨拶.....角谷会長

今月は米山月間です

皆様、こんにちは。

メーキャップにお越しの広島中央RC黒瀬様、吉舎RC奥田様、三次RC小田様、ようこそいらっしゃいました。どうぞごゆっくりお過ごしください。

まずは、カーブ優勝、三連覇おめでとうございます。のらりくらりとしておりましたが、カーブファンの皆さまはホッとしていらっしゃることでしょう。

私は先日お話した終活の一つ、「我が家の溜まったゴミの処理」に奔走しておりました。足掛け3ヶ月、先週でやっと片付けが終わり、今は一気に疲れが出ておりますが、気持ちはスッキリ晴れ晴れとしております。

今月は米山月間です。また21日は尾道にて地区大会がございます。皆さまのご協力と多数のご参加をお願いいたします。

唐突ですが、皆さん「刑務所」というと何を連想されますか。私は以前3年間刑務所でお世話になりました。と言っても受刑者ではございません。広島に吉島刑務所という所があります。通称「広刑」と言いますが、日本で第5の規模を誇る刑務所で、三次拘置支所もこの下部機関に当たります。私はこの受刑者の刑務作業として民間の仕事をして

らっていました。

刑務作業は国の事業であり予算もつきませんが、多くの受刑者をまかなうほどの仕事量ではないので、民間から仕事を受注します。初めて刑務所内の内門を抜け工場の中に入りますと鋭い視線が四方八方から浴びせられました。吉島刑務所は累犯、凶悪犯の多いところです。始めはわざと不良品を作ったり納期を遅らせたりといった嫌がらせからスタートしました。毎日通ううちに、刑務官にいろいろ教わりながら、どうしたら真っ当な仕事をしてもらえるか...それは人參でした。

各工場それぞれに目標予算、目標数があって、これを達成すると食後にデザートやおかずが一品ついたり、DVDで映画が見られたりといった特典があるのです。私は多い時で100人くらいの受刑者を抱えていましたが、まず仕事を切らさない、段取りを良く、作業指導等で、何度も予算達成の恩恵を受けて行きました。それが後々お互いの信頼関係になるのですが、やはり一線を置くことは教えられた通り守ってきました。ただ、刑務所内にいる色々な受刑者たちが同じ目標に向かって頑張りあえることを学びました。

■「四つのテスト」唱和……………佐々木会員

9月号のロータリーの友誌にロータリーの原点についての記事が載っていますので、熟読してロータリアンとしての基盤についてもう一度おさらいしてみてください。

■幹事報告……………栗本幹事

- 本日19時より当グランラセーレにおきまして、第4回理事役員会を開催いたします。
- 次週10月8日は祝日のため休会です。
- 10月15日はかぜくさにて職場例会です。
- 地区会計報告を回覧いたします。
- 10月21日は地区大会です。
- 10月29日は夜間例会です。社会奉仕委員会担当です。
- ロータリーの友誌、ガバナー月信及び米山関連資料を配布しています。
- 庄原、吉倉から会報が届いています。

■出席報告……………水野委員長

- 第1235回 9月3日

会員数	41名	Make-up	2名
欠席	5名	出席合計	38名
でんせいの参加者	1名	出席率	95.00%

- Make-up…箕田君、酒井君
- 第1237回 本日の出席は41名中34名です。

■社会奉仕委員会……………中重委員長

地区事務局より北海道地震の募金の依頼が来ております。一人当たり1,000円です。募金締め切りの関係で一括して41,000円事前に振り込みました。それぞれ1,000円を事務所にお届けください。

10月15日のかぜくさでの職場例会は、通常通り12:30より例会、後半は、授与式と交流会になっています。13:30終了です。車はサングリーンさんに停めてください。

■ロータリー情報……………松本委員長

ロータリーの友誌10月号の見どころをご紹介します。今月は米山月間という事もあり13p~20pの「よねやまだより」、また米山梅吉生誕150年に当たりその生涯のあゆみ、エピソードが18p~20pに掲載されています。24p~33pには、2019年の国際大会が行われる、ドイツハンブルグの紹介記事。タテ組では、各地区の地区大会の講演記事が掲載されています。

■SAA……………大井SAA

- 会員誕生日



- デジタルニコニコBOXご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 10,000円



カープ坊やの
赤い羽根ピンバッジ



米山記念奨学会50周年記念DVD 「世界へ届け 米山の架け橋」

国際奉仕委員会 米山記念奨学会担当 高野 隆行

10月は米山月間です。本日は米山記念奨学財団設立50周年を記念して作成されましたDVD「世界へ届け 米山の架け橋」を鑑賞していただきます。

日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉翁の生い立ちや、当事業の特徴、学友の活躍などを紹介しています。事業全般をご理解いただくのに最適な動画です



米山梅吉銅像
(1868-1946)

梅吉 20 才上京した頃

梅吉 33 才頃
三井銀行時代

1920 年
東京ロータリークラブ設立

【米山梅吉】

日本のロータリーの創始者。よって、日本ロータリーの父「Father of Rotary in Japan」と称されます。

1868年2月4日、大和国高取藩の和田氏の三男として東京に生まれ、父の死後、母の故郷の静岡県長泉(現米山梅吉記念館の所在地)に移り、中学生まで、ここで過ごします。1883年上京し、1887年、米山家に養子として入籍。同年渡米し、学問を修め1895年帰国後、三井銀行に入行しました。

その後1918年の渡米中、ダラスロータリークラブ(RC)のロータリアンになっていた福島喜三次の紹介により、彼はロータリークラブと出会いました。そして帰国後の1920年10月、米山梅吉は東京RCを創立し会長に就任しました。幹事は福島喜三次です。

これが、日本のロータリークラブの第一歩となりました。その後、彼は1924—26年度国際ロータリー(RI)のスペシャル・コミッショナー、1926—27年度RI理事(日本人初)、1928—31年度第70地区(当時)ガバナーなどを歴任しています。

文筆に優れた彼には、ロータリー関係の主な翻訳書に、ポール・ハリスが著した『ロータリーの創設者ポール・ハリス』、『ロータリーの理想と友愛』(原題は『This Rotarian Age』)があります。

また1952年、東京RCは彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う「米山奨学制度」を構想しました。現在の「ロータリー米山記念奨学会」です。彼は1946年4月28日、長泉にて逝去。お墓は記念館近くと横浜市の総持寺の2か所にあります。

【米山記念奨学事業】

平和の推進と国際親善を目的に、ロータリアンの奉仕によって支えられてきたプログラムです。このビデオに登場する奨学生や学友、ロータリアンは決して特別な存在ではありません。毎年、全国で800ものロータリークラブが、世話クラブカウンセラー制度を通じて、国際親善交流を行い、巣立った学友は、世界各国の様々な分野で活躍していま

す。米山記念奨学事業は、まさに人づくりです。



■点鐘.....角谷会長



《三次よもやま50》



Carp ライブラリー in 三次 (栗本清秀会員)

ある夜ピオネットにチャンネルを合わせると、えっ!栗本さん? 出てるう〜!あの、栗本さんが……。

すごい、すごい、すごいカーブコレクション、グッズの数々、初優勝(1975年)の時のメダルから始まって、いやいや、それより前の監督、選手のサイン入り色紙から、今日まで。とにもかくにも百聞は一見にしかず。ぜひ行ってみて!

栗本会員と、カーブとの出会いは、小学生の時お父様に連れられて広島市民球場に行った時から始まります。興津選手が4番でファースト(記憶にある方いらっしゃいますか?)。帽子が紺色でマークは白文字のHだったそうです。中学2年の時、カーブが初優勝。その年、広島市古島町に下宿していた彼は、年間130試合のうちホームゲーム65試合、そのうちの23試合を自転車で市民球場まで行ったというのですから、まさにカーブ愛に溢れていたんですねえ〜。当時のひいき選手は、衣笠。フルスイングに魅せられたそうです。ラジオで実況を聞く時、彼の出番になると正座していたというのですから、衣笠さん聞いたら感激するだろうな!

コレクションにも感動しましたが、私が一番心引かれたのは、栗本会員が子どもの頃に作った、カーブスクラップブックでした。新聞雑誌の切り抜き、野球選手のカードなどが、整然とファイルされていたのはもちろんですが、栗本会員が授業中(!)に描いたという選手のスケッチ、この素晴らしい出来映えこそ本当にビックリでした。

いよいよCSシリーズが始まりました。今年こそ今年こそ、CS優勝、そして日本一!

奥さまの陰の声 「いったいいくら、つぎ込んでるんでしょね……」



カーブ犬の菊次郎くん、MOOちゃんと栗本ご夫妻



授業中に描いたという衣笠選手